

財務諸表等の要約

貸借対照表 (平成18年3月31日)

(単位:百万円)

科目	資産の部		増△減 (前年比較)
	16年度	17年度	
固定資産	354,199	355,335	1,136
土地	165,894	165,894	0
建物 ^{*1}	131,429	144,715	13,286
減価償却累計額	△ 11,088	△ 22,506	△ 11,418
構築物	12,141	12,611	470
減価償却累計額	△ 924	△ 1,872	△ 948
工具器具備品	27,953	34,722	6,769
減価償却累計額	△ 8,021	△ 16,374	△ 8,353
図書 ^{*2}	29,676	30,787	1,111
美術品・收藏品	706	726	20
特許権 ^{*3}	10	13	3
借地権 ^{*4}	1,205	1,205	0
ソフトウェア	452	402	△ 50
投資有価証券 ^{*5}	4,071	4,340	269
その他	694	669	△ 25
流動資産	29,600	36,624	7,024
現金及び預金 ^{*6}	22,951	29,845	6,894
未収附属病院収入	4,934	5,076	142
徴収不能引当金	△ 309	△ 318	△ 9
有価証券 ^{*5}	1,032	1,005	△ 27
医薬品及び診療材料 ^{*7}	666	560	△ 106
その他	325	454	129
資産合計	383,799	391,959	8,160

注)百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。

(※ 1)17年度の施設整備事業としては、総合研究棟(柱)の建設、アスベスト対策事業による建物改修や総合研究棟(農学部、旧工学部4号館、法経本館)の改修を行っています。

(※ 2)17年度は、約13万冊(約11億円)の図書を取得しています。

(※ 3)特許申請にかかった経費を資産計上しています。

(※ 4)研究林、地震観測所等の地上権です。

(※ 5)資金運用している国債です。

(※ 6)主な内訳は、寄附金残額約140億円(任天堂(株)相談役山内氏からの寄附金40億円を含む)、次年度払いの未払金相当約142億円です。

(※ 7)たな卸資産の保有量の見直しを行い、約1億円の減となっています。

財務諸表等の詳細については、京都大学HP(<http://www.kyoto-u.ac.jp/>)に掲載しています。

(単位：百万円)

負債の部			
科目	16年度	17年度	増△減 (前年比較)
固定負債	95,567	91,775	△ 3,792
資産見返負債 ^{※8}	46,663	49,026	2,363
センター債務負担金 ^{※9}	35,043	31,405	△ 3,638
長期借入金 ^{※10}	12,417	509	△ 11,908
その他	1,442	10,833	9,391
流動負債	38,037	36,013	△ 2,024
運営費交付金債務	813	1,926	1,113
寄附金債務 ^{※11}	9,942	14,057	4,115
前受受託研究費等	297	438	141
一年以内返済予定 センター債務負担金	3,600	3,637	37
一年以内返済予定 長期借入金	6,125	18	△ 6,107
未払金	15,145	14,233	△ 912
その他	2,112	1,702	△ 410
負債合計	133,605	127,789	△ 5,816
資本の部			
科目	16年度	17年度	増△減 (前年比較)
資本金	244,529	244,529	0
政府出資金	244,529	244,529	0
資本剰余金^{※12}	△ 454	9,199	9,654
資本剰余金	10,295	30,844	20,549
損益外減価償却累計額	△ 10,749	△ 21,644	△ 10,895
利益剰余金	6,118	10,440	4,322
教育研究等積立金 ^{※13}	—	2,407	2,407
積立金 ^{※14}	—	3,710	3,710
当期末処分利益 ^{※15}	6,118	4,322	△ 1,796
資本合計	250,193	264,170	13,976
負債・資本合計	383,799	391,959	8,160

(※8) 資産見返負債とは、固定資産を取得した場合に、相当する財源を振り替え、当該資産が費用化(減価償却費)される時点において資産見返負債戻入として収益化を行う会計処理のための勘定です。

(※9) センター債務負担金とは、国立大学財務・経営センター債務負担金のことであり、法人化の際に国立学校特別会計から承継した長期借入金です。

(※10) 補正予算により長期借入金約 183 億円を返済しています。

(※11) 寄附金債務とは、次年度へ繰越される寄附金の残高です。増加の主な要因は、任天堂(株)相談役山内氏からの寄附金 40 億円です。

(※12) 施設整備資金貸付金償還時補助金(約 183 億円)や施設費補助金等による固定資産の取得(約 27 億円)等の増と損益外減価償却累計額(約 109 億円)や固定資産除却分(約 5 億円)の減の差額が当期の増分となっています。

(※13) 16年度の利益剰余金のうち経営努力認定(文部科学大臣の承認)を受けた目的積立金で、本学の定めた剰余金の使途に使用する予定です。

(※14) 16年度の利益剰余金のうち経営努力認定(文部科学大臣の承認)外(資金の裏付けのない)の積立金で、損失の補填に充てるものです。

(※15) 当期末処分利益とは、17年度の利益剰余金で、収益から費用を差し引いた損益計算書の当期総利益の額と一致します。